

高校生の余暇活動に関する実態調査

○ 寺 嶋 文 代（東京都立北多摩高校）

松 浦 三代子（東京女子体育大学）

キーワード：高校生 自由時間 遊び 小遣い アルバイト

I 調査の目的

近年の青少年は自己中心的で他人のことや地域社会の動向などには無関心なものが多く、社会性の欠如がしばしば指摘されている。東京都生活文化局が昭和51（1976）年以来、3年に1回のインターバルで行ってきた「東京都青少年基本調査」の昨年度調査では東京都に住む青少年の社会性の程度の差は年齢と人間類型による差が最も大きいことが明らかにされた。この基本調査は第1回調査から青少年を4つのタイプに分けて分析の軸にしてきた。4つのタイプとは、コツコツ型、ふわふわ型、イライラ型、ゆうゆう型の4つであるが、そのうちコツコツ型は最も社会性が高く、イライラ型が最も低いことが明らかにされた。調査が始まった20年前はコツコツ型の青少年が最も多かったのが、調査を重ねるたびに減少し、第5回調査から最も多くなったのがイライラ型の青少年である。イライラ型の特徴が人間嫌いにあることも示唆的である。要するに、東京に住む青少年の傾向をみると、この20年の間に人間嫌いの傾向が強いイライラ型の青少年が増えており、それにつれ青少年の社会性の欠如を指摘する声も次第に高くなった。この調査では、青少年の日常生活についても調べ、社会性の程度との関連を検討している。それによると、現代の大都市青少年の7割が自分の個室をもち、3割が自分専用の電話とパソコンをもち、半数が自分専用のテレビをもち、6割がレンタルショップを利用しており、7割が専用のテレビソフトをもち、8割が専用の雑誌を購読している一方、会って話す人が1日平均4人不足であり、クラブやサークルへの参加率に至っては3%にも満たないという生活状況であることが明らかにされている。

青少年の余暇問題について考えると、平成8年4月から「学校週5日制」（第2、第4土曜日の休日）が導入され、青少年の自由時間が増大した。高校期に入ると自由時間の過ごし方に個性が現れてくる。その原因については、家庭環境・友人関係・アルバイト生活・大人の疑似体験等、やゝもすると目的を失い生活態度の混乱を招く。また、青少年の非社会的行動（問題行動）の分析からみて青少年が自分だけの関心の世界にとじこもり自分だけの快適さ、楽しさを先行・追求し、社会との関わりを避け、積極的に関わろうとしない状況がある。

今回、東京都立の全日制高校・定時制高校の生徒を対象に自由時間の過ごし方を調査・分析することにより、高校生の余暇活動の支援の一助とするものである。

II 方法と対象

- 1) 調査においては、都立の全日制7校、定時制11校、計18校を抽出し調査を依頼した。これらの内訳は、表1のとおりである。
 - 2) 調査期日は、平成8年5月1日～5月31日
 - 3) 調査は、調査票を各校に送付し、任意の時間に集団記入式で実施した。回収率は100%
- ㊦ 文中における空欄は無回答を意味する。

Ⅲ 結果及び考察

1 自由時間の過ごし方について

自由時間をどのように過ごしているか。

19項目について質問した。全体からみた平均は、「テレビ」53.2%、「友人と話す」48.8%、「遊び」44.7%が目立ち、「スポーツ」4.0%、「野外活動」0.3%は非常に低い。表2に示すように特に「スポーツ」については全日制（男子12.1%、女子0.0%）、定時制（男子2.8%、女子2.4%）である。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
項	友映	手遊	観テ	ホス	シ休	コ料	読専	パ野	テボ	そ空										
目	人画	伝び	劇レ	稽ボ	ョ養	ン理	書門	ソ外	レラ	の欄										
す	と	い	ビ古	丨ツ	サ	学	コ活	ビン	他											
	話		ゲ	ツビ	丨	校	ン動	テ												
			丨	ント				ィ												
			ム	グ				ア												
								活												
								動												

全日制と定時制の自由時間の過ごし方は、程度の幅の差はみられるが内容については殆ど同じような傾向を示している。定時制の「空欄」59.7%は非常に高い。これは自由時間についての認識不足、無計画の現われと思う。男子の自由時間の過ごし方は、「テレビゲーム」（全日制41.0%、定時制28.4%）が目立ち、女子の自由時間の過ごし方は、「友人と話す」（全日制64.4%、定時制58.8%）、「ショッピング」（全日制64.1%、定時制54.5%）が非常に高い。これは男子と女子の自由時間の過ごし方の特徴が分化していることがわかる。

2 遊びについて

表3は、遊びの全日制（男子・女子） 定時制（男子・女子）をそれぞれ高い順に並べたものである。全日制女子の「空欄」が59.2%、定時制男子「空欄」が51.8%である。「その他」の内容をみると（「友人と話す、街をブラブラ、異性との交際、ドライブ、飲みに行く」）等々である。男子は「テレビゲーム」（全日制54.6%、定時制44.9%）、女子は「カラオケ」（全日制48.6%、定時制55.7%）に高い傾向がみられた。僅かだが男子に「麻雀、パチンコ、飲みに行く」、やゝ逸脱的な行動をしている者がおり、遊びの内容からも性差がみられた。

3 アルバイトについて

表5はアルバイトについて調べた。アルバイトをしている理由、アルバイトをしていない理由を表6に示した結果である。アルバイトしている理由は殆んど「自分の小遣いのため」である。全日制のアルバイトをしていない（32.7%）の理由は「勉強やクラブ活動があるため」と回答している。全日制ではアルバイト禁止の学校が多い。しかし、「アルバイトをしている」全日制男子は5.7%、全日制女子4.4%である。その理由の82.6%が「自分の小遣いのため」である。定時制男子の26.0%が、「アルバイトをしていない。」その理由として「働くところがない」者が64.3%もいる。

4 小遣いの使い方について

表7は、小遣いの使途の高い順から並べたものである。全体からみると、「本や雑誌」が多く、46.4%、次に男子では「空欄」が50.2%、「本や雑誌」が44.2%で

である。女子は「本や雑誌」が49.6%、「飲食」42.1%、「着るもの」42.1%、「遊び」34.8%と男子と比較すると高い率を示している。これは女子の小遣いの使い方と自由時間の過ごし方とが重複していることがわかった。男子の小遣いの使途は、比較的「趣味」に使われている傾向がみられた。定時制では68.7%が「空欄」である。

IV まとめ

(1) 青少年の自由時間の望ましい使い方として 家庭環境・地域社会の場の提供と共に、自分の余暇や「自由時間」をどのように作りだすか。自分にとって意義ある使い方をしていくか、青少年の大切な課題でもある。

(2) 青少年の社会的・自然的体験の不足から「遊び」の内容が乏しい。今後の課題は自由な時間をどのように過ごしていくか。時間を有効に利用し、計画性や実行力を育くむことである。

(3) 余暇活動に判断しかねる未記載「空欄」が何であるか追求する必要がある。

(4) 週5日制が導入された当初は、土曜日はお昼すぎまで寝ていたり、友達とどこかへ遊びに出掛けたりと時間の無駄使いばかりしていた。しかし、5日制に慣れてからは、土曜日をボランティア活動に参加したり、部活をしたりして、ただ学校にいて授業を受けているだけでは得られない何かを覚えてくれた。これからはく読書・小旅行・映画・演奏会・家族とのんびり」と自由時間を過ごしていきたい。という事例もあった。

(5) 自由の望ましいライフスタイルに合わせて、スポーツ・読書・野外活動・ボランティア活動等についても、自分で創意・工夫して積極的に参加できるように支援していきたいものである。

表 1

	校数	区部	市町	普通科	職業科	男子	女子	合計
全日制	7	5	2	4	1	315名	368名	683名
定時制	11	4	7	9	2	599名	255名	854名

表2 自由時間の過ごし方

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	他	空
全日男	40.3%	3.2%	1.9%	45.7%	0.0%	41.0%	0.0%	12.1%	20.0%	39.7%	0.0%	0.0%	13.7%	0.0%	0.0%	0.0%	62.5%	0.0%	0.0%	17.8%
全日女	64.4%	1.1%	9.2%	33.7%	0.0%	1.6%	2.4%	0.0%	64.1%	48.6%	0.0%	0.0%	10.3%	0.0%	0.0%	0.0%	63.9%	0.0%	3.5%	8.4%
定時男	39.4%	1.2%	3.3%	48.6%	0.0%	28.4%	0.0%	2.8%	15.2%	27.7%	0.0%	0.3%	9.2%	1.7%	0.0%	0.0%	43.7%	0.0%	2.8%	67.1%
定時女	58.8%	7.8%	22.0%	50.2%	0.8%	11.0%	0.8%	2.4%	54.5%	32.2%	1.2%	4.7%	20.8%	0.4%	0.0%	0.8%	48.2%	0.0%	6.3%	42.4%

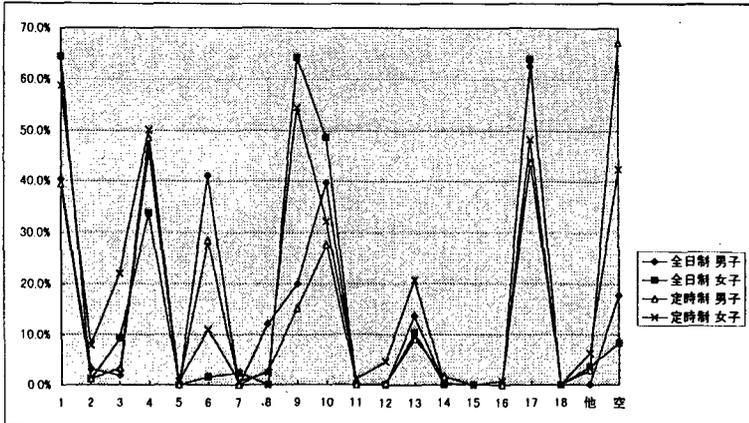


表 3 遊びについて

順位	全 日 制		定 時 制	
	男子(N=315) %	女子(N=368) %	男子(N=599) %	女子(N=255) %
1	テレビゲーム54.6	空欄 59.2	空欄 51.8	カラオケ 55.7
2	ゲームセンタ38.4	カラオケ 48.6	テレビゲーム44.9	その他 31.4
3	スポーツ 31.7	その他 42.1	ゲームセンタ39.1	ゲームセンタ29.0
4	カラオケ 18.7	映画 30.7	その他 21.5	テレビゲーム21.2
5	空欄 18.1	テレビゲーム16.0	カラオケ 21.0	映画 13.7
6	その他 14.6	ゲームセンタ14.9	スポーツ 5.3	スポーツ 5.9
7	スポーツ観戦 6.3	スポーツ 10.1	バイクに乗る 3.3	スポーツ観戦 5.5
8	バイクに乗る 3.2	スポーツ観戦 2.4	映画 3.0	バイクに乗る 1.6
9	映画 2.5		スポーツ観戦 2.5	パソコン 1.6

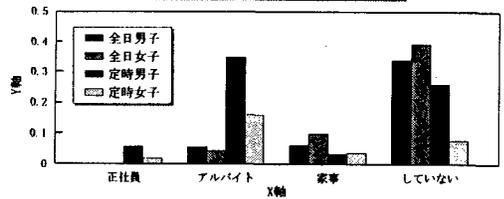
「した」割合(複数回答)

仕事について(全体)

	正社員	アルバイト	家事	していない
全日男子	0.0%	5.7%	6.3%	34.1%
全日女子	0.0%	4.4%	10.1%	39.4%
定時男子	5.8%	35.1%	3.4%	26.0%
定時女子	1.9%	16.2%	3.8%	7.8%

表 5

表 5-① 仕事について(全体)



どんな遊びをしていますか。 表 4

番号	項目
1	ゲームセンター
2	映画
3	テレビゲーム
4	カラオケ
5	スポーツ観戦
6	観劇
7	バイクに乗る
8	パソコン
9	スポーツ
10	野外活動
11	その他
12	空欄

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	空欄
全日制男子	38.4%	2.5%	54.6%	18.7%	6.3%	0.0%	3.2%	1.3%	31.7%	0.0%	14.6%	18.1%
全日制女子	14.9%	30.7%	16.0%	48.6%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	10.1%	0.0%	42.1%	59.2%
定時制男子	39.1%	3.0%	44.9%	21.0%	2.5%	0.2%	3.3%	0.0%	5.3%	0.0%	21.5%	51.8%
定時制女子	29.0%	13.7%	21.2%	55.7%	5.5%	0.8%	1.6%	1.6%	5.9%	0.8%	31.4%	0.4%

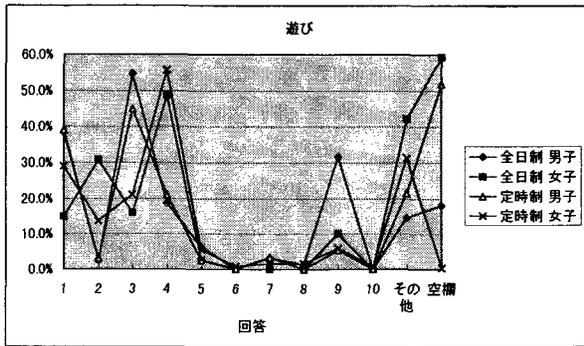


表 6 アルバイトの理由について (%)

(1)アルバイトしている理由	全 体	全日制	定時制
I 自分の小遣いのため	7 0 . 8	8 2 . 6	6 8 . 9
II 家計を助けるため	6 . 2	2 . 9	0 . 2
III 学費のため(進学のため)	7 . 0	1 . 4	7 . 8
IV 働きたいから	7 . 8	1 1 . 6	7 . 1
V その他	1 1 . 3	2 3 . 2	9 . 4
	(N=503)	(N=69)	(N=434)
(2)アルバイトしていない理由	全 体	全日制	定時制
I 働くところがない	3 0 . 7	1 1 . 6	6 4 . 3
II 働かなくてもよい	1 7 . 9	1 8 . 3	1 7 . 1
III 働きたいが親が反対する	9 . 0	1 2 . 5	2 . 8
IV 学校から禁止されている	1 0 . 7	1 6 . 5	0 . 3
V 勉強やクラブ活動があるため	2 2 . 1	3 2 . 7	3 . 1
VI その他	1 7 . 9	1 4 . 9	2 3 . 1
空欄	4 . 8	1 . 0	1 1 . 5
	(N=788)	(N=502)	(N=286)

表 7 小遣いの使い道について (%)

順位	項 目	全体 (N=1537)	男子 (N=914)	女子 (N=623)	全日制 (N=683)	定時制 (N=854)
1	本や雑誌	4 6 . 4	4 4 . 2	4 9 . 6	6 6 . 3	3 0 . 4
2	空欄	3 9 . 2	5 0 . 2	2 3 . 0	2 . 2	6 8 . 7
3	飲食	3 5 . 4	3 0 . 9	4 2 . 1	5 2 . 9	2 1 . 4
4	着るもの	2 7 . 9	1 8 . 3	4 2 . 1	3 3 . 8	2 3 . 2
5	遊び	2 6 . 5	2 0 . 8	3 4 . 8	2 8 . 4	2 4 . 9
6	趣味	1 3 . 5	1 8 . 1	6 . 7	1 0 . 8	1 5 . 6
7	貯金している	8 . 0	7 . 7	8 . 7	4 . 1	1 1 . 2
8	学用品	3 . 5	0 . 5	7 . 9	5 . 9	1 . 6
9	アクセサリ	1 . 2	0 . 0	3 . 0	0 . 6	1 . 8
10	ペット	0 . 3	0 . 0	0 . 6	0 . 0	0 . 5
11	コンサート	0 . 3	0 . 0	0 . 6	0 . 0	0 . 5
12	映画	0 . 2	0 . 0	0 . 5	0 . 0	0 . 4
13	その他	0 . 0	0 . 0	0 . 0	0 . 0	0 . 0

「した」割合(複数回答)